

日本史の

もしも



講師

本郷和人

【ほんごう・かずと】1960(昭和35)年東京都生まれ。

東京大学史料編纂所教授。文学博士。東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事し日本中世史を学ぶ。中世政治史、古文書学専攻。史料編纂所で『大日本史料』第五編(鎌倉時代)の編纂を担当。著書に『中世朝廷訴訟の研究』(東京大学出版会)、『天皇はなぜ生き残ったか』(新潮社)、『新・中世王権論』(文春学芸ライブラリー)など。

「歴史にもしもはない」といいますが、そんなことはありません。たとえば徳川家康は長生きしますが、50才で病死する可能性だってあった。このとき、江戸幕府は江戸時代はどうなったか。これはそうした「もしも」を考える講演です。

第1回

源頼朝、足利尊氏の「もしも」

2020年10月18日(日) 午後2時~3時30分

頼朝は旗挙げの戦いの時に九死に一生を得ました。彼が戦いで倒れていたら、鎌倉幕府はなかったのでしょうか。尊氏は後醍醐天皇を敬愛していました。尊氏が謀反しなければ、室町幕府はどうなっていたのか。考えてみます。

第2回

関ヶ原の戦いの「もしも」

2020年11月15日(日) 午後2時~3時30分

偶然に偶然が重なった歴史ドラマ。それが天下分け目の関ヶ原の戦いです。島津義弘が伏見城に入城していたら。立花宗茂が大津城攻めに行かなかったら。そして西軍の大坂籠城が実現していたら。歴史はどうなっていたのでしょうか。

【場 所】東武博物館ホール

東武スカイツリーライン 東向島駅下車

※詳しくは裏面をご覧ください。

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募

(個別の応募はできません)

【定 員】50名(応募多数の場合は抽選)

※政府・自治体の要請により、定員を変更する場合があります。

【主 催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。

上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛 先】〒273-8567 千葉県船橋市本町7-1-1 東武友の会「向島文化サロン」T係

※一度に複数名のご応募はできません。
(複数名が記入されたハガキは無効となります。)
1回の応募で1名様のみ有効となります。

締 切 2020年9月23日(水) 必着 ※当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

【お問合せ】 東武友の会 TEL.047-425-7283 www.tobu-tomonokai.co.jp